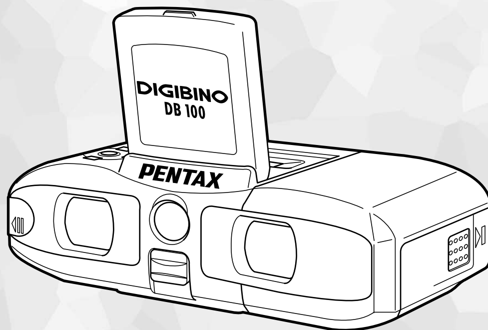
PENTAX®

デジタルカメラ機能付双眼鏡

DIGIBINO®

DB 100

使用説明書



デジビノの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

はじめに

このたびは、ペンタックス・デジビノ DB100をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の機能を充分活用していただくために、ご使用になる前に本書をよくお読みください。また、本書をお読みになった後は必ず保管してください。使用方法がわからなくなったり、機能についてもっと詳しく知りたいときにお役に立ちます。

著作権について

デジビノを使用して撮影した画像は、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむ目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

デジビノを使用するにあたって

- 強い電波や磁気を発生する施設などの周囲では、デジビノが誤動作を起こす場合があります。
- 液晶モニタに使用されている液晶パネルは、非常に高度な精密技術で作られています。99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。なお、記録される画像には影響ありません。

商標について

- PENTAX、DIGIBINOは旭光学工業株式会社の登録商標です。
- その他、記載の商品名、会社名は各社の商標もしくは登録商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用されることを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって、正しい取り扱いをしてください。

本文中のイラストおよび液晶モニタの表示画面は、実際の製品と異なる場合があります。

ご注意ください

この製品の安全性については充分注意を払っておりますが、下記表示の内容については特に注意をしてお使いください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⚠ 警 告

デジビノで太陽を絶対見ないでください。

 **警告**

- デジビノで太陽を見ないでください。デジビノで太陽を観測すると失明の恐れがありますので、絶対に見ないでください。
- デジビノを直射日光のあたるところに置かないでください。火災の原因になることがあります。
- デジビノの分解・改造などをしないでください。感電の危険があります。
- 落下などによりデジビノ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。

- ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- 電池の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害をおこす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

- 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解や改造などをしないでください。破裂・発火の原因となることがあります。
- 万一、デジビノ内の電池が発熱・発煙を起こした時は、速やかに電池を取り出してください。その際は、やけどに充分ご注意ください。
- デジビノには、使用していると熱を持つ部分があります。その部分を長時間持ちつづけると、低温やけどをおこす恐れがありますのでご注意ください。
- デジビノを歩行中には使用しないでください。衝突・転倒し、けがの原因となることがあります。
- デジビノの眼幅調整の際、指を挟みけがをすることがあります。小さなお子さまの使用につきましては特にご注意ください。
- 長時間の使用を繰り返しますと、目の回りの皮膚に炎症をおこす場合もまれにあります。もしも疑わしい症状があらわれましたら、医師に相談してください。
- ストラップを付けた状態で、振り回したりしないでください。人に当たりけがの原因となることもあります。

取り扱い上の注意

- レンズバリアを開けた状態でデジビノを太陽の方向に向けないでください。撮像素子を破壊する恐れがあります。
- 長時間使用しなかったときや、大切な撮影の前には、必ず試し撮りをしてデジビノが正常に機能しているかを確認してください。デジビノの故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影によりともなう利益の損失など）については、保証しかねます。
- ピント合わせリング、視度調整リング、眼幅を合わせるときなど、無理な力を加えないでください。
- 強い振動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの振動は、クッションなどを入れて保護してください。
- デジビノは防水ではありませんので、雨水などが直接かかる所では使用できません。
- デジビノの使用温度範囲は0℃～40℃です。
- 高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
- 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答が遅くなることもありますが、これは液晶の性質によるもので、故障ではありません。
- 急激な温度変化を与えると、デジビノの内外に結露し水滴を生じます。デジビノをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがデジビノの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。

- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
- 防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
- 高性能を保つため、1～2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。

電池について

- 電池は単3アルカリ電池（2本)、単3ニッケル電池（2本)、単3ニッケルマンガン電池（2本)、単3ニッケル水素電池（2本）を使用するか、CR-V3リチウム電池パック（1本）を使用します。
- 撮影条件、使用環境及び電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- マンガン電池は使用できません。電池寿命が短いばかりでなく、電池の発熱などによりデジビノに損害をもたらす恐れがあります。
- 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は液もれ・発熱・破損の原因となります。交換するときは、＋－の向きに注意して正しく入れてください。
- 電池は一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、デジビノを防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。なお、低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると回復します。
- 電池の＋－極が汗や油で汚れていると、接触不良をおこす原因になります。乾いた布でよく拭いてから使用してください。
- 長期間の旅行などには、予備の新しい電池を用意することをおすすめします。特に海外では、地域によって入手困難なことがあります。

目次

本書の構成

本書は、以下の章で構成されています。

●準備

デジビノを双眼鏡として使用する方法と、画像を撮影するまでの準備操作について説明しています。撮影をはじめる前に必ずお読みになり、操作を行なってください。

●クイックスタート

一番簡単な撮影方法と再生方法を説明しています。すぐに撮影・再生をしたいときは、この操作方法をご利用ください。

●モードとメニュー

モードの切り替えやメニューの使い方などについて説明しています。詳しい内容は、「撮影」「再生・消去」「設定」の各章をご覧ください。

●撮影

さまざまな撮影の方法や、撮影に関する機能の設定方法について説明しています。

●再生・消去

デジビノ・テレビでの再生の方法や消去のしかたを説明しています。

●設定

デジビノに関する機能の設定方法について説明しています。

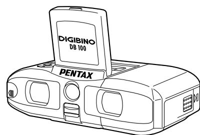
●パソコンで画像を見る

付属CD-ROM内のソフトウェアを使いデジビノで撮影した画像をパソコンで見る方法を説明しています。

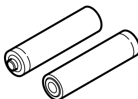
●付録

困ったときの対処のしかたや、アフターサービスの案内をしています。

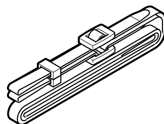
同梱品を確認する



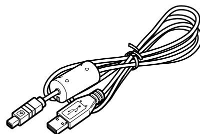
本体（DB100）



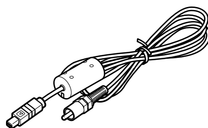
単3アルカリ電池（2本）



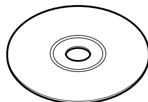
ストラップ



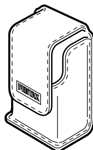
USBケーブル



ビデオケーブル



ソフトウェア（CD-ROM）
（K-SW1）



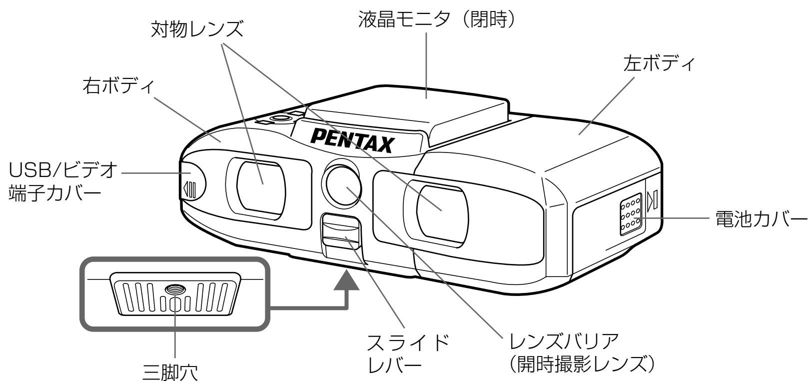
ソフトケース



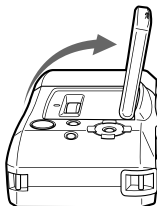
使用説明書（本書）

保証書

各部の名称



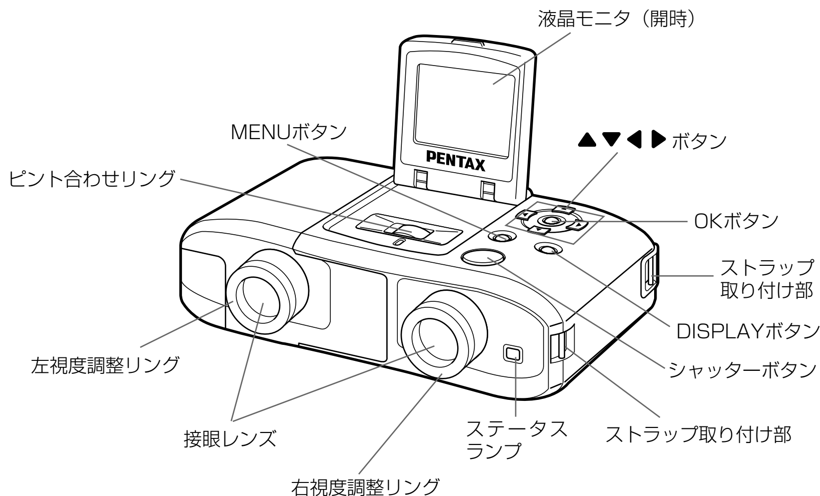
液晶モニタを開ける



注意

液晶モニタを開ける際は、強い力を加えないでください。

各部の名称

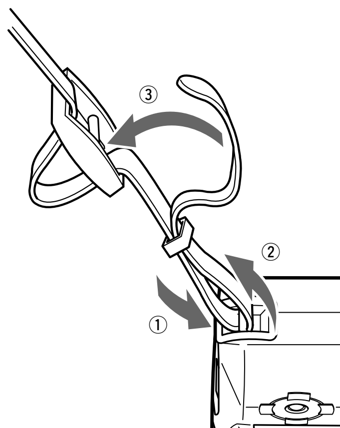


液晶モニタ（開時）
MENUボタン
▲▼◀▶ボタン
ピント合わせリング
PENTAX
OKボタン
ストラップ
取り付け部
DISPLAYボタン
左視度調整リング
シャッターボタン
接眼レンズ
ステータス
ランプ
ストラップ取り付け部
右視度調整リング

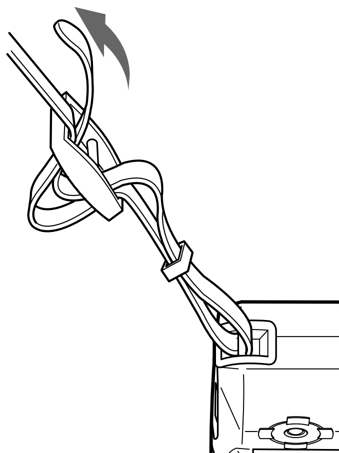
ストラップを取り付ける

ストラップを下図のようにストラップ取り付け部（2箇所）に通して取り付けます。

1



2



注意

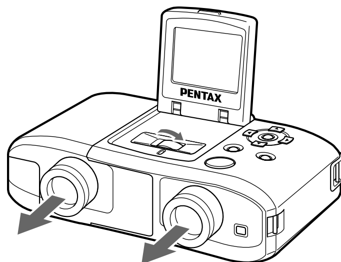
上記にしたがって正しい取り付けを行なってください。万一、誤った取り付けによりストラップが外れて本体を落とした場合の損害など、一切の責任は当社では負いかねますのでご了承ください。

眼幅を合わせる

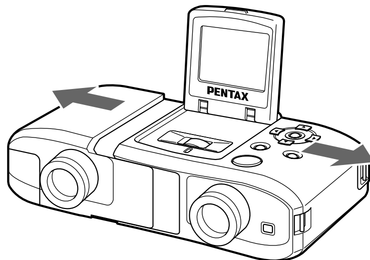
デジビノでは、左右ボディを開閉することによって、接眼レンズをのぞくための最適の位置を得ることができます。

1 液晶モニタを起こす

2 ピント合わせリングを回し、接眼レンズを繰り出す



3 両眼でのぞき、左右の視野が重なって一つになるように、左右ボディを静かに開閉する

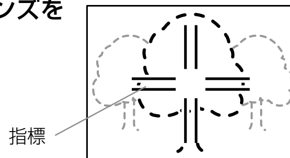


視度とピントを合わせる

デジビノでは、視力に合わせ視度を調整することができます。

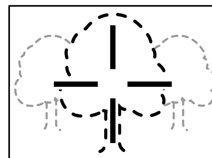
1 デジビノを明るい方に向け、右眼で右接眼レンズをのぞく

指標、目標物ともにぼやけています。



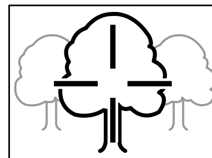
2 右視度調整リングを回し、指標がハッキリ見えるようにする

この時点ではまだ目標物はぼやけています。



3 右眼の指標がハッキリ見えたら、ピント合わせリングを回し、右眼で目標物にピントを合わせる

右眼は指標と目標物が同時にハッキリ見えています。



4 左視度調整リングを回し、左眼も目標物がハッキリ見えるようにする

両眼とも目標物がハッキリ見え、右眼には指標もハッキリ見えています。

注意

視度とピントをしっかり合わせないと、撮影した画像のピントが合いません。

この後は、ピント合わせリングを回して目標物にピントを合わせれば、双眼鏡部・カメラ部とも同時にピントが合います。

双眼鏡として使用する

眼幅、視度、ピント合わせを終了すれば、デジビノを双眼鏡として使用できます。その際、電池を入れる必要はありません。

目標物のピントは、ピント合わせリングの操作のみで合わせることができます。

電池を取り付ける

本機で使用できる電池

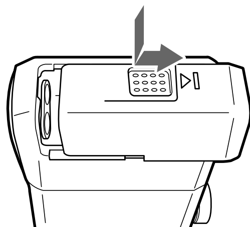
本機では下記の電池が使用できます。

単3アルカリ電池（2本)、単3ニッケル電池（2本)、単3ニッケルマンガン電池（2本）
単3ニッケル水素電池（2本)、CR-V3リチウム電池パック（1本）

注意

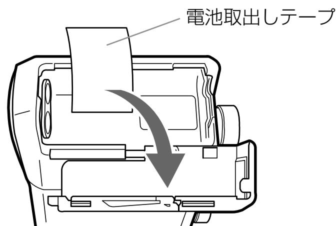
- 単3マンガン電池は使用できません。
- 「電池について」(4ページ）もご覧ください。

1 電池カバーの側面を押しながら、接眼レンズ側にひく

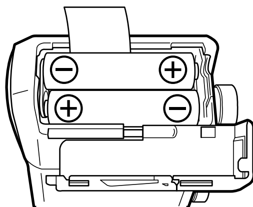


準
備

2 電池カバーを開ける



3 電池取出しテープを下に敷くように、単3形電池2本を電池室内部の表示（+、－）にあわせて正しい向きで挿入する



注意

- 電池の向きに注意して挿入してください。電池の向きが違うと電源が入りません。
- CR-V3リチウム電池パックを使用するときも、＋、－の向きに注意して挿入してください。
- 電池取出しテープは必ず電池の下に敷いてください。電池の下に敷かないと、電池が取り出しにくい場合があります。

4 電池カバーを閉じる

電池カバーを閉じてから対物レンズ側に押し込むとロックされます。

電池の残量表示

液晶モニタに表示された ▮▮▮ で、電池の残量を確認できます。

▮▮▮（緑点灯）	：電池がまだ十分に残っています。
▮▮（緑点灯）	：少し減った状態
▮（黄点灯）	：だいぶ減った状態
□（赤点灯）	：残量がほとんどありません。
「バッテリ容量が無くなりました」	：メッセージの表示後、電源オフとなります。

メモ

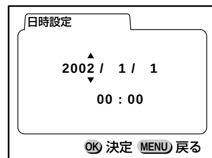
電池の容量がなくなった状態で電源をオンにすると、右接眼レンズ脇のステータスランプが、赤・緑色に点滅し続けます。

日付・時刻を合わせる

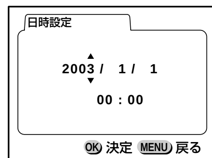
はじめてデジビノの電源を入れると、日時を設定する画面が表示されます。現在の日付と時刻を設定してください。

1 液晶モニタを起こし、DISPLAYボタンを押す

電源がオンになり、液晶モニタに日時設定画面が表示されます。

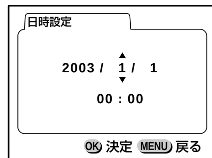


2 ▲、▼ボタンを押し、「年（西暦）」を合わせる



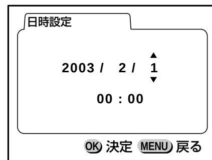
3 ▶ ボタンを押す

「月」に ▲ ▼ が表示されます。

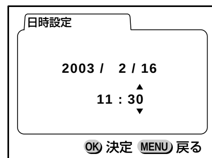


4 ▲、▼ボタンを押し「月」を合わせ、▶ボタンを押す

「日」に▲ ▼が表示されます。



5 4 を繰り返して、「日」「時」「分」を合わせる



6 設定が終了したら、時報と同時にOKボタンを押す

設定内容を確認する画面が表示され、撮影できる状態になります。

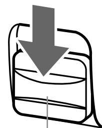
メモ

- MENUボタンを押すと、設定がキャンセルされますが、撮影することはできます。この場合は、次回電源を入れたときに再度日時設定画面が表示されます。また、ここで設定した内容は変更ができます。「日付・時刻を変更する」（46ページ）をご覧ください。
- 時間表示は24時間表示です。

撮影する

1 スライドレバーを下げ、レンズバリアを開ける

電子音とともにステータスランプが赤・緑色と点滅し、電源がオンになります。



2 液晶モニタを起こす

3 双眼鏡をのぞきながらピント合わせリングを回し、ピントを合わせる

4 シャッターボタンを押す

ピピッという電子音とともに、ステータスランプが緑色に約1秒間点灯します。
撮影した画像はメモリに保存されます。
緑色のステータスランプが消灯すれば、次の撮影ができます。

スライドレバーを上げレンズバリアを閉じると、電源がオフになります。

注意

撮影後、ステータスランプが赤色に点滅（手ブレ警告）するときは、シャッタースピードが1/125秒以下の場合です。液晶モニタで画像を確認してください。

液晶モニタを見ながら撮影する

1 スライドレバーを下げ、レンズバリアを開ける

2 液晶モニタを起こす

3 DISPLAYボタンを押す

液晶モニタが点灯し、撮影レンズを通した画像が表示されます。



4 液晶モニタを見ながらピント合わせリングを回し、ピントを合わせる

ピントの最終確認は、双眼鏡をのぞいておこなってください。

5 シャッターボタンを押す

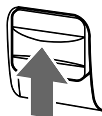
撮影された画像が2秒間表示されます（クイックビュー）。

撮影レンズを通した画像が液晶モニタに再び表示されると、次の撮影ができます。

再生する

撮影した画像を1枚ずつ再生する

1 スライドレバーを上げ、レンズバリアを閉じる



2 液晶モニタを起こし、DISPLAYボタンを押す

最後に撮影された画像が液晶モニタに表示されます。



3 ◀、▶ ボタンを押す

◀ ボタンを押すと前の画像が表示されます。

▶ ボタンを押すと次の画像が表示されます。（最後に撮影された画像が表示されているときは、一番最初の画像が表示されます。）

最後に撮影した画像を再生する（ワンタッチビュー）

最後に撮影した画像をすばやく再生することができます。

液晶モニタを見ながら撮影したとき

1 撮影後に、OKボタンを押す

最後に撮影された画像が液晶モニタに表示されます。



再度OKボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。

双眼鏡をのぞきながら撮影したとき

1 DISPLAYボタンを押す

液晶モニタが点灯し、撮影レンズを通した画像が表示されます。

2 OKボタンを押す

最後に撮影された画像が液晶モニタに表示されます。

メモ

- 再生中に画像を消去することもできます（ワンタッチ消去）。ワンタッチ消去については、38ページをご覧ください。
- 画像がないときは「画像がありません」と表示されます。

モードを切り替える

撮影できる状態を撮影モード、再生や消去できる状態を再生モードといいます。

撮影モード

スライドレバーを下げレンズバリアを開けると、電子音とともにステータスランプが赤・緑色に点滅して電源が入り、撮影モードになります。

再生モード

スライドレバーを上げレンズバリアを閉じ、液晶モニタを起こします。
DISPLAYボタンを押すと電源が入り、液晶モニタが点灯し、再生モードになります。
DISPLAYボタンを押すごとに電源の入／切（液晶モニタの点灯／消灯）を繰り返します。

レンズバリアとの組み合わせは下表のようになります。

	液晶モニタ消灯	液晶モニタ点灯
レンズバリア閉状態	電源オフ	再生モード
レンズバリア開状態	撮影モード	撮影モード

メニューを使用する

液晶モニタが点灯している状態でMENUボタンを押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。撮影モードでは撮影のための機能とデジビノの各種設定ができます。再生モードでは、再生のための機能が設定できます。

メニューの操作方法

ここでは撮影モード時の「撮影機能」メニュー画面を使って説明します。再生モード時も操作方法は同じです。なお、詳しい操作については、「撮影」「再生・消去」「設定」の各章をご覧ください。

1 撮影モードで液晶モニタを起こす

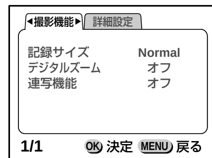
2 DISPLAYボタンを押す

液晶モニタが点灯し、撮影レンズを通した画像が表示されます。



3 MENUボタンを押す

「撮影機能」メニュー画面が表示されます。(選択されている項目は黄色で示されます。)

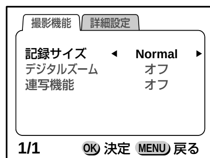


メモ

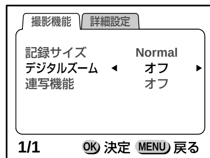
◀ ▶ ボタンを押すと、「詳細設定」メニュー画面が表示されます。

4 ▼ボタンを押す

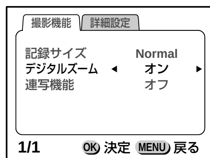
黄色表示がメニュー項目に移動します。



5 ▲、▼ボタンで項目を選択する



6 ◀、▶ボタンで設定を切り替える



6' または、選択画面があるときは▶ボタンを押し、選択画面を表示する

選択画面での設定が終了したら、OKボタンでメニュー画面に戻ります。

7 OKボタンを押す

設定が終了し、撮影できる状態になります。

メモ

- メニュー画面、選択画面では、液晶モニタ下部にボタン操作のガイドが表示されますので参考にしてください。
- 再生モードでMENUボタンを押すと「再生機能」メニュー画面が表示されます。その後の操作は、ステップ4から7を参照してください。

メニュー一覧

撮影モードで設定できるメニュー

「撮影機能」メニュー

項目	内容	選択（**太字**は初期値）	参照ページ
記録サイズ	画像の画質が選べます。	Fine、**Normal**、Basic	30
デジタルズーム	デジタルズーム撮影ができます。	オン、**オフ**	31
連写機能	連続撮影ができます。	オン、**オフ**	32

「詳細設定」メニュー

項目	内容	選択（**太字**は初期値）	参照ページ
フォーマット	メモリのを初期化します。		44
日付表示スタイル	日付の表示形式を設定します。	**年/月/日**、月/日/年、日/月/年	45
日時設定	日付/時刻を設定します。		46
Language/言語	メニュー表示などの言語を設定します。	**日本語**、English、Français、Deutsch、Español、Italiano	47
操作音	ボタン操作時などの電子音を設定します。	**オン**、オフ	48
ビデオ出力	ビデオの出力方式を表示します。	NTSC（表示のみ）	
オートパワーオフ	自動的に電源が切れるように設定します。	**3分**、5分、オフ	49
リセット	設定を初期値に戻します。		51

再生モードで設定できるメニュー

「再生機能」メニュー

項目	**内容**	**選択（太字は初期値）**	**参照ページ**
サムネイル	画像を9コマ同時に表示します。	オン、**オフ**	34
スライドショウ	画像を連続再生します。	1秒、**3秒**、5秒	36
ソフトズーム	再生画像のズームができます。	オン、**オフ**	37
消去	画像を消去します。	**1コマ**、全コマ	38
プロテクト	誤って画像を消去しないようにします。	オン、**オフ**	42

撮影情報を表示する

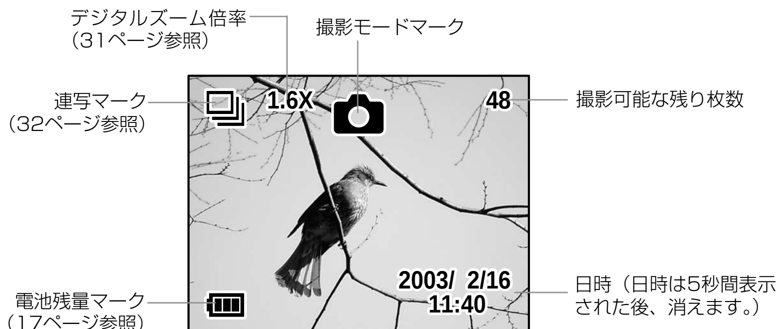
撮影時（レンズバリア開時）、撮影情報を液晶モニタに表示することができます。DISPLAYボタンを押し、液晶モニタの点灯／消灯を切り替えます。

メモ

- 撮影方法については「撮影する」（20ページ）をご覧ください。
- デジビノの接眼レンズで確認できる範囲（視野率）は、実際に記録される画像の約85%です。したがって、レンズをのぞいて見た視野よりも、実際に記録される画像は多少広くなります。また、液晶モニタ上の画像と記録される画像はほぼ同じものとなります。

液晶モニタ点灯時

撮影情報が液晶モニタに表示されます。



液晶モニタ消灯時

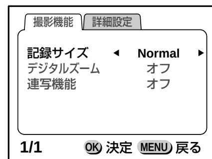
液晶モニタは消灯しますが、撮影は可能です。

画質を選択する（記録サイズ）

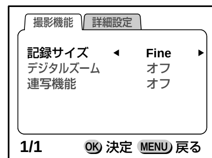
撮影する画像の画質を3通りのなかから選ぶことができます。

1 「撮影機能」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「記録サイズ」を選択する



3 ◀、▶ ボタンを押し、お好みの記録サイズを選択する



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

記録サイズと画質

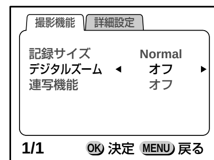
記録サイズ	撮影可能枚数	画質
Fine 1024 x 768 pixel （低圧縮率）	約100枚	画質モードの中の最高画質です。保存しておきたい画像や、プリントアウトしたいとき、パソコンに取り込んで編集したいときなどに選択してください。
Normal 1024 x 768 pixel （高圧縮率）	約150枚	初期設定で選択されています。
Basic 640 x 480 pixel	約300枚	画質モードの中で最も多くの枚数を撮影することができます。ファイルサイズが小さく、Eメール添付などの用途に適しています。

被写体の大きさを変える（デジタルズーム）

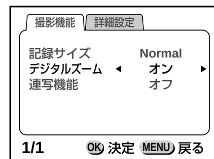
デジタルズームを使うと、画像を拡大して撮影することができます。

1 「撮影機能」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「デジタルズーム」を選択する



3 ◀、▶ボタンを押し、「オン」を選択する



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

5 ▲ボタンを1回押すと1.6倍、2回押すと3.2倍になります

▼ボタンを押すと縮小されます。

注意

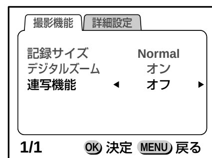
- 1.6倍デジタルズーム使用時の画質は「Basic」（640 x 480 pixel）になります。
- 3.2倍デジタルズーム使用時の撮影画像の大きさは、1.6倍使用時と同じ大きさです。3.2倍デジタルズームは主にピント合わせにお使いください。

連続して撮影する（連写機能）

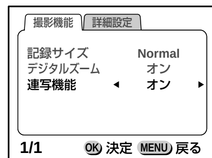
シャッターボタンを押しているあいだ、連続して撮影することができます。秒5コマで最大10コマまで撮影できます。

1 「撮影機能」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「連写機能」を選択する



3 ◀、▶ボタンを押し、「オン」を選択する



4 OKボタンを押す

画面左上に ⧉ が表示され、撮影できる状態になります。

5 シャッターボタンを押すと連写が始まります

シャッターボタンを押しているあいだは、連続して撮影されます。
シャッターボタンを離すと撮影が終了します。

画像情報を表示する

再生モード時（レンズバリア閉時）、再生画像の情報を液晶モニタに表示することができます。
DISPLAYボタンを押し、液晶モニタの点灯／消灯を切り替えます。

メモ

基本的な再生方法については「再生する」（22ページ）をご覧ください。

液晶モニタ点灯時

画像情報が液晶モニタに表示されます。



液晶モニタ消灯時

電源がオフになります。

9画像ずつ再生する（サムネイル）

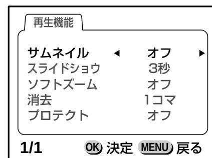
液晶モニタに9コマの画像を同時に表示できます。見たい画像をすばやく検索することができます。

1 再生モードで、◀、▶ボタンを押し、画像を選択する

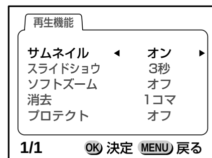
2 MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押し、「サムネイル」を選択する



4 ◀、▶ボタンを押し、「オン」を選択する



5 OKボタンを押す

1で選択された画像を中央にして、9画像が表示されます。



6 ▲、▼、◀、▶ ボタンで見たい画像を選択する



左列の画像を選択しているときに、◀ ボタンを押すと、前の9画像が表示されます。

右列の画像を選択しているときに、▶ ボタンを押すと、次の9画像が表示されます。

7 OKボタンを押す



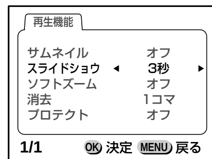
選択された画像が1枚表示されます。

連続して再生する（スライドショウ）

撮影した全画像を連続して再生することができます。

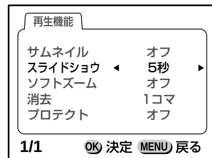
1 「再生機能」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「スライドショウ」を選択する



3 ◀、▶ボタンを押し、お好みの再生間隔を選択する。

「1秒」「3秒」「5秒」のなかから選択することができます。



4 OKボタンを押す。

選択された間隔で再生が開始します。

5 任意のボタン（シャッターボタンを除く）を押す

スライドショウが停止します。

メモ

スライドショウはボタンを押して停止させるまで繰り返します。

拡大して再生する（ソフトズーム）

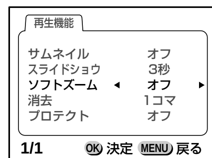
再生する画像を拡大して表示することができます。撮影後のピント確認などに便利です。

1 再生モードで、◀、▶ ボタンを押し、拡大する画像を選択する

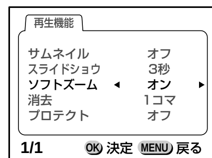
2 MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押し、「ソフトズーム」を選択する



4 ◀、▶ ボタンを押し、「オン」を選択する



5 OKボタンを押す

画面左上に🔍が表示されます。

6 ▲ボタンを押す

1で選択された画像の中心部分が拡大表示されます。

▲ ボタンを押すごとに、画像は1倍/1.5倍/2.0倍/2.5倍/3.0倍と拡大されます。▼ボタンを押すと、拡大された画像が縮小されます。

7 OKボタンを押す

通常再生に戻ります。

メモ

◀ ボタンを押すと前の画像、▶ ボタンを押すと次の画像が通常再生されます。

画像を消去する

最後に撮影した画像を消去する（ワンタッチ消去）

ワンタッチビュー（23ページ参照）で再生した画像を消去することができます。

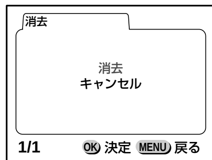
1 ワンタッチビューで再生する

最後に撮影された画像が液晶モニタに表示されます。



2 シャッターボタンを押す

消去確認画面が表示されます。



3 ▲ボタンを押し、「消去」を選択する

4 OKボタンを押す

画像が消去され、撮影できる状態になります。



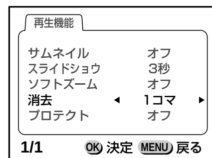
1画像ずつ消去する

1 再生モードで、◀、▶ボタンを押し、消去する画像を選択する

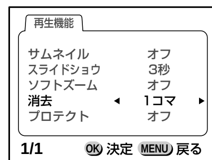
2 MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押し、「消去」を選択する

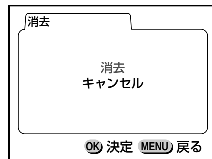


4 ◀、▶ボタンを押し、「1コマ」を選択する



5 OKボタンを押す

消去確認画面が表示されます。



6 ▲ボタンを押し、「消去」を選択する

7 OKボタンを押す

1で選択された画像が消去されます。

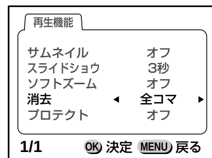


全画像をまとめて消去する

1 「再生機能」メニューを表示する（25ページ参照）

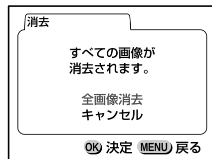
2 ▼ボタンを押し、「消去」を選択する

3 ◀、▶ボタンを押し、「全コマ」を選択する



4 OKボタンを押す

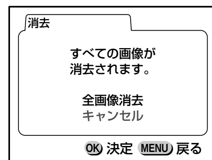
消去確認画面が表示されます。



5 ▲ボタンを押し、「全画像消去」を選択する

6 OKボタンを押す

保存されている全画像が消去されます。



注意

- 消去した画像は復元できません。
- プロテクトされている画像は消去できません。

大事な画像を残す（プロテクト）

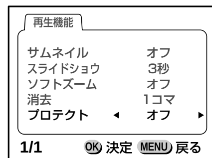
大事な画像を誤って消去しないようプロテクト（保護）することができます。
プロテクトされた画像には 🔑 が表示されます（33ページ参照）。

1 再生モードで、◀、▶ ボタンを押し、プロテクトする画像を選択する

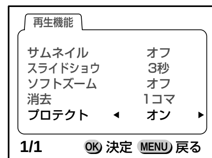
2 MENUボタンを押す

「再生機能」メニューが表示されます。

3 ▼ボタンを押し、「プロテクト」を選択する



4 ◀、▶ ボタンを押し、「オン」を選択する



5 OKボタンを押す

1で選択された画像がプロテクトされます。

プロテクトを解除するには

① 1でプロテクトされている画像を選択する。
② 4で「オフ」を選択する。

テレビで画像を見る

付属のビデオケーブルを使用すると、テレビなどビデオ入力端子を備えた機器をモニタにして撮影や再生ができます。ケーブルを接続するときは、テレビとデジビノの電源を必ずオフにしてください。

1 デジビノのUSB/ビデオ端子カバーを開き、USB/ビデオ端子に付属のビデオケーブルを接続する

2 ビデオケーブルのもう一方の端子を、テレビの映像入力端子に接続する

3 テレビとデジビノの電源を入れる

4 デジビノで撮影や再生をおこなう

デジビノの撮影レンズを通した画像や再生画像が、テレビに表示されます。

メモ

- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本製品は日本国内仕様です。

メモリを初期化する（フォーマット）

デジビノのメモリに保存されているすべてのデータを消去します。

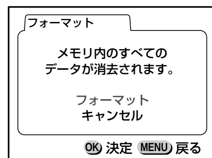
1 「詳細設定」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「フォーマット」を選択する

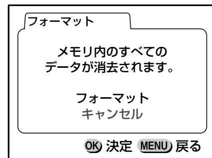


3 ▶ボタンを押す

フォーマット画面が表示されます。



4 ▲ボタンを押し、「フォーマット」を選択する



5 OKボタンを押す

フォーマットが開始されます。
フォーマットが終わると撮影できる状態になります。

注意

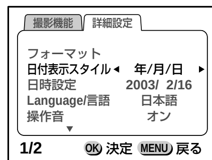
この操作を行なうと、プロテクトされた画像も消去されます。

日付の表示スタイルを選択する

液晶モニタに表示される日付の表示スタイルを選択できます。

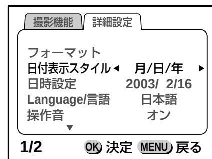
1 「詳細設定」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「日付表示スタイル」を選択する



3 ◀、▶ボタンを押し、お好みの表示スタイルを選択する

「年/月/日」「月/日/年」「日/月/年」の中から選択することができます。



4 OKボタンを押す

設定した日付表示で撮影できる状態になります。

日付・時刻を変更する

設定されている日付・時刻を変更することができます。

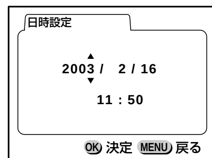
1 「詳細設定」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「日時設定」を選択する



3 ▶ボタンを押す

日時設定画面が表示されます。



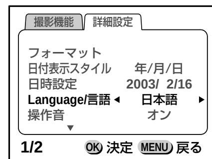
設定方法は、「日付・時刻を合わせる」（18ページ）をご覧ください。

表示言語を変更する

メニューやエラーメッセージなどに表示される言語を変更します。

1 「詳細設定」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「Language/言語」を選択する

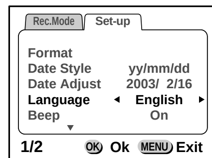


3 ◀、▶ボタンを押し、言語を切り替える

日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語のなかから選択できます。

4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。



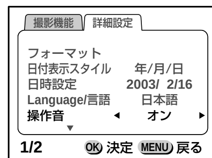
メニューやエラーメッセージは選択された言語で表示されるようになります。

操作音をオン/オフする

操作音や動作音をオン/オフできます。

1 「詳細設定」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「操作音」を選択する



3 ◀、▶ボタンを押し、「オン」と「オフ」を切り替える



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

オートパワーオフを設定する

一定の時間なにも操作しないときは、自動的に電源が切れるように設定できます。

1 「詳細設定」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「オートパワーオフ」を選択する



3 ◀、▶ボタンを押し、時間を切り替える

「3分」「5分」「オフ」の中から選択できます。



4 OKボタンを押す

撮影できる状態になります。

メモ

スライドショウで再生しているときや、USB接続をしているときは、この機能は働きません。

オートパワーオフ状態から復帰する

撮影モード時

レンズバリアを一度閉じてから再度開きます。または、レンズバリアを開いたままDISPLAYボタンを押します。

再生モード時

DISPLAYボタンを押します。

設定を初期値に戻す（リセット）

「日時表示スタイル」「日時設定」「Language/言語」以外の設定内容を初期値（工場出荷時の設定）に戻すことができます。

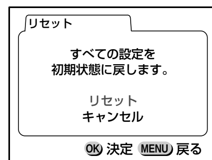
1 「詳細設定」メニューを表示する（25ページ参照）

2 ▼ボタンを押し、「リセット」を選択する

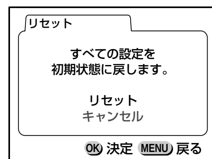


3 ▶ボタンを押す

リセット画面が表示されます。



4 ▲ボタンを押し、「リセット」を選択する



5 OKボタンを押す

各種設定が初期値に戻り、撮影できる状態になります。

Windowsパソコンで画像を見る

付属のUSBケーブルと付属のソフトウェアを使用すると、デジビノで撮影した画像をパソコンで閲覧・編集・プリントできます。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには、次のソフトウェアが含まれます。

- USBドライバ
- 画像閲覧用ソフト（ACDSee™3.1 ）

システム環境

- OS　: Windows 98SE/Me/2000/XP
- CPU　: Pentium以降を推奨
- ハードディスクの空容量　: 15MB以上
- USBポートが標準で搭載されていること

ソフトウェアをインストールする（Windows 98SEのみ）

必要なソフトウェアをインストールします。

USBドライバをインストールする

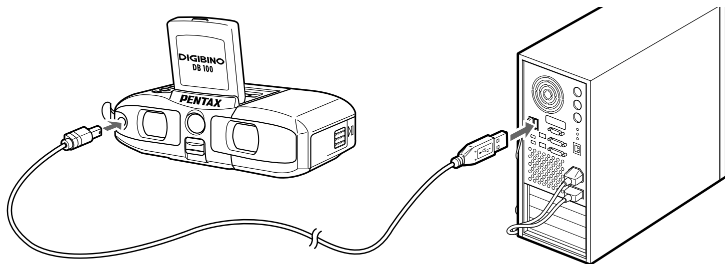
メモ

Windows Me/2000/XPでは、付属のUSBドライバをインストールする必要はありません。

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

3 デジビノの電源をオフにして、付属のUSBケーブルでパソコンとデジビノを接続する



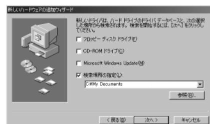
4 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示される



5 「次へ」をクリックする

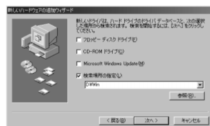


6 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックする



7 「検索場所の指定」をチェックして、CD-ROMドライブが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックする

「PENTAX USB DISK Device」が表示されます。



8 「次へ」をクリックする

「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されます。



9 「完了」をクリックする



ACDSee™3.1をインストールする

ACDSee™3.1をインストールすると、撮影した画像をパソコンで見ることができます。

1 パソコンの電源を入れる

2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

3 「マイコンピュータ」をダブルクリックする

4 CD-ROMドライブをダブルクリックする

5 「Japanese」をダブルクリックする

6 「setup.exe」をダブルクリックする

セットアップ画面が表示されます。画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。

7 インストールが完了したら、Windowsを再起動する

デジビノとパソコンを接続する

1 パソコンの電源を入れる

2 デジビノの電源をオフにして、付属のUSBケーブルでパソコンとデジビノを接続する

3 デジビノは「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」として認識される

メモ

この状態で、画像を見たり、印刷したりできますが、写真のデータはデジビノのメモリにあります。メモリの写真データを他のメディアに保存したい場合は、パソコンの使用説明書を参考にエクスプローラー等を利用してファイルをコピーあるいは移動させてください。編集する場合は、パソコン側へ画像をコピーしてから行ってください。

パソコンで画像を見る

1 デスクトップ画面から「ACDSee™3.1」アイコンをダブルクリックする

2 見たい画像を選ぶ

デジビノの画像は「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「×××PENTX」(×××は、3桁の数字）フォルダーの中にあります。

パソコンからデジビノを取り外す

パソコンからデジビノを取り外す（Windows2000）



1 タスクバーの （ホットプラグアイコン）をダブルクリックする

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。



2 「USB大容量記憶装置デバイス」が選択されていることを確認して「停止」をクリックする

「ハードウェアデバイスの停止」画面が表示されます。



3 「USB大容量記憶装置デバイス」が選択されていることを確認して「OK」をクリックする

メッセージが表示されます。



4 「OK」をクリックする

5 USBケーブルをパソコンとデジビノから取り外す

メモ

- WindowsMeでは、「USB大容量記憶装置デバイス」は「USBディスク」と表示されます。
- Windows98SEでは、ホットプラグアイコンはありません。デジビノを外すときは、そのままUSBケーブルを外してください。

パソコンからデジビノを取り外す（WindowsXP）

1 タスクバーの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする



2 「USB大容量記憶装置デバイス」をクリックして「停止」をクリックする



3 「USB大容量記憶装置デバイス」をクリックして「OK」をクリックする



4 取り外し許可のメッセージが表示されたら、USBケーブルをパソコンとデジビノから取り外す



パソコンで画像を見る

Macintoshで画像を見る

付属のUSBケーブルと付属のソフトウェアを使用すると、デジビノで撮影した画像をパソコンで閲覧・編集・プリントできます。

添付ソフトウェアのご紹介

付属のCD-ROMには次のようなソフトウェアが含まれます。
- 画像閲覧用ソフト（ACDSee™3.1 ）

システム環境

- OS ：Mac OS9.0～9.2（QuickTime4.0以降が必要）
- CPU ：PowerPC 266MHz以上
- ハードディスクの空容量 ：6MB以上
- USBポートが標準で搭載されていること

ソフトウェアをインストールする

必要なソフトウェアをインストールします。

メモ

Macintoshでは、USBドライバをインストールする必要はありません。

ACDSee™3.1をインストールする

ACDSee™3.1をインストールすると、撮影した画像をMacintoshで見ることができます。

1 Macintoshの電源を入れる

2 付属のCD-ROMをMacintoshのCD-ROMドライブにセットする

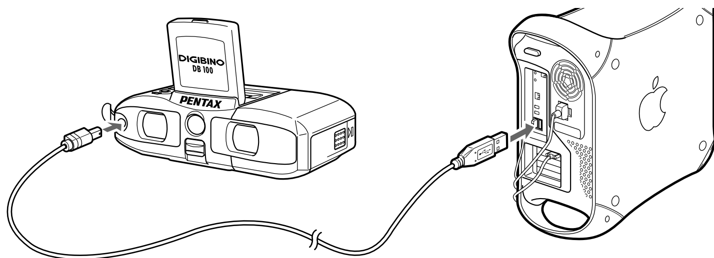
3 CD-ROM上の「Japanese」をダブルクリックする

画面の指示に従い、登録情報を入力し、インストール作業を進めてください。

デジビノとMacintoshを接続する

1 Macintoshの電源を入れる

2 デジビノの電源をオフにして、付属のUSBケーブルでMacintoshとデジビノを接続する



3 デジビノはデスクトップ上の「名称未設定」として認識される

フォルダー名は変更ができます。

メモ

この状態で、画像を見たり、印刷したりできますが、写真のデータはデジビノのメモリにあります。メモリの写真データを他のメディアに保存したい場合は、Macintoshの使用説明書を参考にファイルをコピーあるいは移動させてください。編集する場合は、Macintoshへ画像をコピーしてから行ってください。

1 ハードドライブ上の「ACDSee™3.1」フォルダーをクリックする

2 「ACDSee™3.1」のプログラムアイコンをダブルクリックする

3 見たい画像を選ぶ

デジビノの画像はデスクトップ上の「名称未定義」→「DCIM」→「×××PENTX」（×××は、3桁の数字）フォルダーの中にあります。

Macintoshからデジビノを取り外す

1 デスクトップ上の「名称未設定」をごみ箱にドラッグする

2 USBケーブルをMacintoshとデジビノから取り外す

メッセージ一覧

デジビノを使用中に、液晶モニタに表示されるメッセージには以下のようなものがあります。

メモリ空き容量なし	メモリに容量いっぱいの画像が保存されていて、これ以上画像を保存できません。不要な画像を消去してください（38ページ）。画質/サイズを変えると保存できる可能性があります（30ページ）。
画像がありません	メモリに再生できる画像が保存されていません。
この画像はプロテクトされています	プロテクトされている画像を消去しようとしています。
バッテリ容量が無くなりました	電池残量がありません。新品の電池か、充電済みの電池と交換してください。
画像をメモリに記録中です	画像をメモリに記録しています。
プロテクトの設定を変更中です	画像のプロテクト設定を変更しています。
フォーマット中	メモリをフォーマット中です（44ページ）。
画像を消去しています	画像を消去しています（38ページ）。
フォルダが作成できません	最大のファイルNo.が使用されているため、画像を保存できません。メモリをフォーマットしてください（44ページ）。
この画像を表示できません	デジビノで再生できない画像を再生しようとしています。他社のカメラやパソコンでは表示できる場合があります。

こんなときは？

現象	原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーが入っていない	電池が入っているか確認し、入っていなければ入れてください（15ページ）。
	バッテリーの入れかたを間違えている	電池の挿入方向を確認してください（11ページ）。
	電池の残量がない	新品か充電済みの電池に交換してください。
液晶モニタに何も表示されない	液晶モニタをオフにセットしている	DISPLAYボタンを押すと液晶モニタが点灯します。
	表示はされているが、確認しづらい	日中の屋外での撮影は液晶モニタが表示されていても、確認しづらいことがあります。
シャッターが切れない	再生モードにセットされている	撮影モードにします（24ページ）。
	内蔵メモリに空き容量がない	不要な画像を消去してください（38ページ）。
	書き込み中	書き込みが終了するまで待ってください。

現象	原因	対処方法
撮影した画像のピントが合っていない	双眼鏡の視度とピントが合っていない	双眼鏡の視度とピントを合わせてください（13ページ）。
撮影した画像が暗い	被写体が暗すぎる	より明るい被写体を撮影してください。

主な仕様

双眼鏡部

倍率　　　　　：7倍
対物レンズ有効径：
　　　　　　　17mm X 14mm
実視界　　　　：7.1度
プリズム形式　：ダハプリズム
ピント調整方式：接眼レンズ繰り出し方式
合焦範囲　　　：∞～2m
視度調整範囲　：$-5m^{-1}$～$+3m^{-1}$ (Dptr) 左右接眼両方
　　　　　　　　右接眼指標入り

CCD部

記録形式　　　：JPEG (Exif2.1)、DCF準拠
画質　　　　　：Fine、Normal、Basic
ピント調整方式：双眼鏡連動（∞～2m）
記録メディア　：内蔵メモリ16MB
　　　　　　　　（Fine撮影で約100枚）
使用CCD/記録画素数：
　　　　　　　1/3インチ
　　　　　　　有効画素数 80万画素
　　　　　　　総画素数 85万画素
　　　　　　　プログレッシブ方式
　　　　　　　　Fine　　：1024 x 768 ピクセル
　　　　　　　　Normal　：1024 x 768 ピクセル
　　　　　　　　Basic　　：640 x 480 ピクセル
撮影レンズ　　：焦点距離37mm F4
　　　　　　　　（35mm判換算280mm相当）
画角　　　　　：8.3度（視野率85%）
デジタルズーム：1.6倍（焦点距離59mm相当）、
　　　　　　　　3.2倍

ホワイトバランス：
　　　　　　　TTLフルオート
露出制御　　　：TTLプログラムオート
シャッター速度：1/8000～1/30秒
　　　　　　　　メカシャッターなし
感度設定　　　：ISO100～1600、オート
連写機能　　　：5コマ/秒で最大10コマ
CCDへの導入方法：
　　　　　　　撮影レンズを設置する3眼方式

LCD

液晶モニタ：　1.6インチD-TFDカラーLCD
　　　　　　　（バックライト付）

その他

三脚座　　　　：あり
外部コネクタ　：データ入出力（USB）、ビデオ出力混合
電源　　　　　：単3アルカリ電池（2本）、単3ニッケル電池（2本）、単3ニッケルマンガン電池（2本）、単3ニッケル水素電池（2本）、またはCR-V3リチウム電池（1本）
大きさ　　　　：127 (幅) x 69 (奥行) x 44 (厚) mm
質量　　　　　：255 g（電池含まず）
付属品　　　　：USBケーブル、ビデオケーブル、単3アルカリ電池2本、ソフトウェア（CD-ROM）、ソフトケース、ストラップ、保証書、取扱説明書（本書）

アフターサービスについて

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か当社のお客様相談センター、またはお客様窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のサンプルや故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの]をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店、当社のお客様相談センター、またはお客様窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。

3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   - ・使用上の誤り（使用説明書記載以外の誤操作等）により生じた故障。
   - ・当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   - ・火災・天災・地変等による故障。
   - ・保管上の不備（高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等）や手入れの不備（泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等）による故障。
   - ・保証書の添付のない場合。
   - ・販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。

4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。

5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後5年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社のお客様相談センター、またはお客様窓口にお問い合わせください。

6. 海外旅行をされる場合は、国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社のお客様相談センター、またはお客様窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。[保証期間のみ有効]

7. 保証内容に関して、詳しくは保証書をご覧ください。

メモ

お客様窓口のご案内

ペンタックス　ホームページアドレス http://www.pentax.co.jp/

お客様相談センター（弊社製品に関するお問い合わせ）〒174-8639 東京都板橋区前野町2-36-9

営業時間 午前9：00～午後6：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

0570-001313（市内通話料でご利用いただけます。）

携帯電話、PHSの方は、下記の電話番号をご利用ください。

☎ 03(3960)3200㈹　☎ 03(3960)0887 デジタルカメラ専用

[ショールーム・写真展・修理受付]

ペンタックスフォーラム　☎ 03(3348)2941㈹　〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階(私書箱240号)

営業時間 午前10：30～午後6：30（年末年始および三井ビル点検日を除き年中無休）

[修理受付]

ペンタックス 札幌営業所お客様窓口　☎ 011(612)3231㈹　〒060-0010 札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル2階

営業時間 午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 仙台営業所お客様窓口　☎ 022(371)6663㈹　〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階

営業時間 午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 名古屋営業所お客様窓口　☎ 052(962)5331㈹　〒461-0001 名古屋市東区泉1-19-8 ペンタックスビル3階

営業時間 午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 広島営業所お客様窓口　☎ 082(234)5681㈹　〒730-0851 広島市中区榎町2-15 榎町ビューロー3階

営業時間 午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックス 福岡営業所お客様窓口　☎ 092(281)6868㈹　〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル2階

営業時間 午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

[直送修理受付・修理に関するお問い合わせ]

ペンタックスサービス㈱ 東日本修理センター　☎ 03(3975)4341㈹　〒175-0082 東京都板橋区高島平6-6-2 旭光学工業㈱流通センター内

営業時間 午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）

ペンタックスサービス㈱ 西日本修理センター　☎ 06(6271)7996㈹　〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階

営業時間 午前9：00～午後5：00（土・日・祝日および弊社休業日を除く）



旭 光 学 工 業 株 式 会 社

〒174-8639　東京都板橋区前野町2-36-9

ペンタックス販売株式会社

〒100-0014　東京都千代田区永田町1-11-1

☆この説明書には再生紙を使用しています。

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

01-200204